

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
おべんとうあそび	小	グループ学習 高学年・シロクマ (国語・算数)	柴田響子

<ねらい>

- ・自分で好きな具材を選び取り、弁当箱に入れて“おべんとう”を完成させることを楽しむ。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ①布や紙製の大きなおべんとうの具材（おにぎり×2・たまごやき・ウインナー・からあげ×2・プチトマト・ブロッコリー）と、中を仕切りで8マスに区切った弁当箱を準備する。
- ②児童が自分の好きなお弁当の具材を選び取り、弁当箱まで運んでマスの中に1つつ入れていき、全ての具材を入れておべんとうを完成させる。
- ③出来上がったおべんとうの周りにみんなで集まり、「いただきます」の声かけに合わせて食べる真似をしたり、教師や友達に食べさせたりすることを楽しむ。
- ④児童の実態に合わせて、②で弁当箱の底にそれぞれの具材のイラストを置いておき、選んだ具材と同じイラストが置いてあるマスに入れておべんとうを完成させることにも取り組む。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・児童が知っている身近なものとして“おべんとう”を題材にすることで児童も興味をもつことができた。
- ・具材は児童が両手で持って運べるぐらいに大きく作り、赤色のプチトマトや黄色のたまごやきや緑色のブロッコリーなど、目に留まりやすい鮮やかな色で作ったことで、児童が具材に注目しやすかったり、好きな色で具材を選び取ったりすることができた。
- ・弁当箱は具材の色に被らない青色で作った。中の仕切りのふちに黄色のテープを貼ることでマスがはっきりと見え、児童もマスをよく見て具材を中に入れることができた。
- ・児童の実態に合わせて、活動に慣れたころに④の内容にも取り組むことで、好きな場所に入れるだけでなく、具材と同じイラストを探して入れていくことも楽しめた。
- ・出来上がったおべんとうに集まりみんなで食べる真似をすることで、自分の番でない児童も活動と一緒に楽しむことができ、みんなで遊びを楽しむことができた。また、一人一人の活動の終わりを分かりやすくすることができた。



<その他（材料、費用、購入先等）>

弁当箱：段ボール、ペンキ

具材：フェルト、布、タオル、ビニール袋、梱包用ポリエチレンシート、新聞紙

